

至学館大学

共通テストプラス入試

英語 出題意図

第1問

量子論は「相対性理論」と共に今の現代社会が一変する新しい技術を生み出した理論であり、これからの社会を生きていく若者にとって、自分が生きている社会を支えている理論を理解することは大切なことである。そのような内容に関する長文を読み、その文章を理解するために必要な基本的な文法・語彙・論理の展開を読み解く力を問うた。

第2問

小問6は、下線部①に関する事柄を正確に読み取れているかを問うものである。小問7は、クリスマスについて本文に書かれていることを正確に把握できているかを問うものである。小問8では、本文の内容を正確に読み取れているかを問うた。小問9は、本文を正確に読み取れているかを問うものである。小問10は、文脈を理解して適切な語を選択できるかを問うものである。

第3問

英文整序の形式により、高等学校までに学習した基本的な英文の構造や慣用表現と文法事項(不定詞、関係詞、比較、否定、疑問表現など)を総合的に理解しているかを問う問題とした。

第4問

空所補充の形式により、CEFR-J A 2.2~B 1.2 程度の語法を含む文法事項(使用頻度の高い文構造や連語、限定的な意味合いをもつ形容詞の用法、基本的な時制や相など)について理解しているかを問うた。